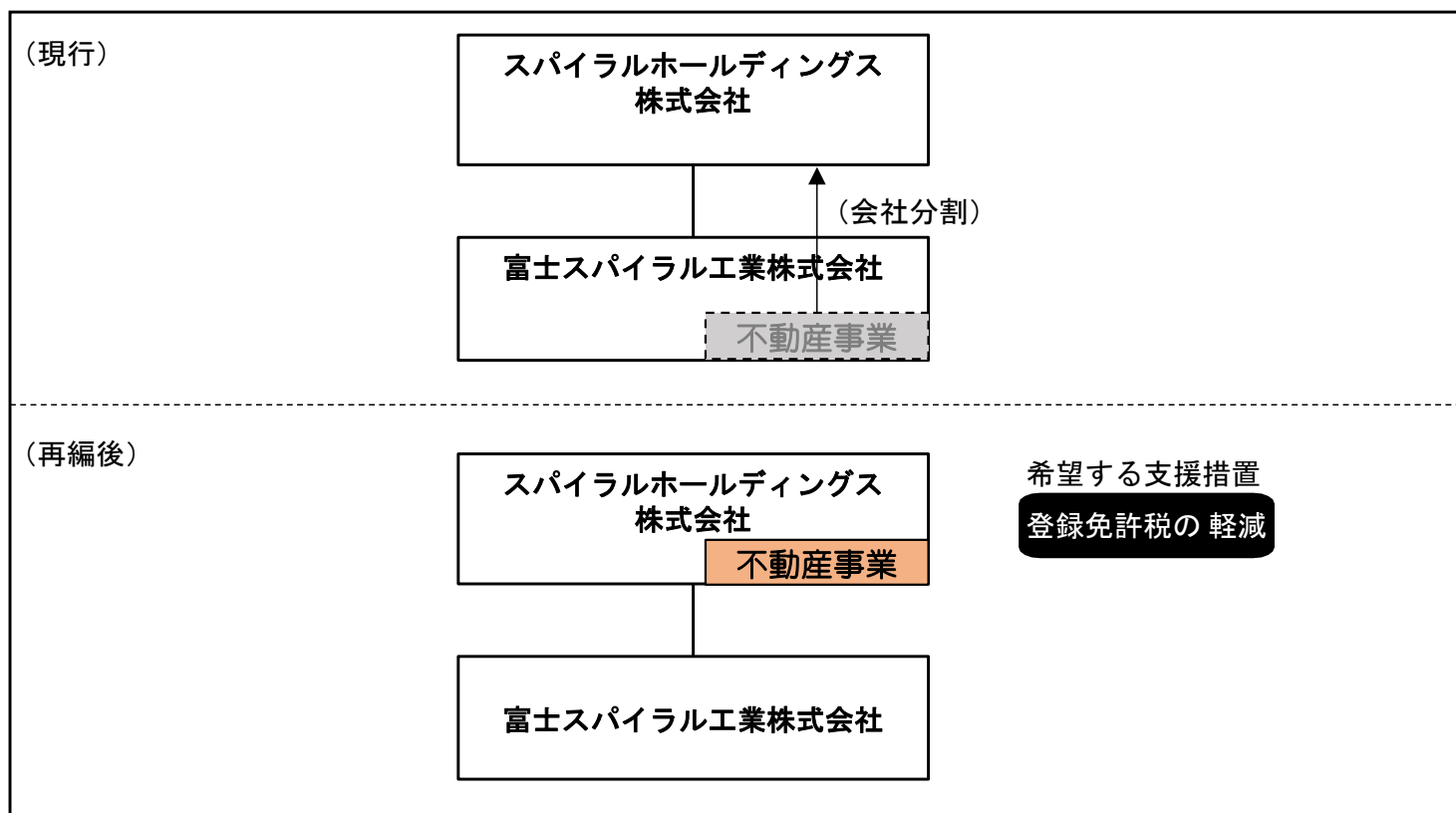


スパイラルホールディングス株式会社の事業再編計画のポイント

富士スパイラル工業株式会社の持株会社であるスパイラルホールディングス株式会社に対して、会社分割の手法によりグループ内で利用する不動産を移転させることにより、不動産の一元管理をはじめ複雑化する社会においてより一層グループ経営の高度化に取り組んでいく。これによりグループ全体としての役割を明確化し、効率的なグループ運営を図り、企業価値の更なる向上を目指す。



【生産性の向上】

- ・ 固定資産回転率を29.7%向上させる。

【財務内容の健全化】

- ・ 有利子負債／キャッシュフロー 6.3倍
- ・ 経常収支比率 106.6%

【前向きな取組】

- ・ 新製品の開発により、新製品の売上高を計画最終年度(2027年9月期)において、全社売上高の4.4%以上とする。

【計画の実施期間】

- ・ 2025年10月～2027年9月